

平成27年度施策評価シート

基本情報	政策名等	34	地域性を活かしたモノづくりと新たなサービス創出が活発なまちづくり	担当部署	160500	産業振興部商工労働課	連絡先	0595-22-9669
	施策	3401	地域産業の高付加価値化	評価責任者・役職名	産業振興部 部長 尾登 誠			
	再生の視点(何を、どうする)	<ul style="list-style-type: none"> 高付加価値型産業の形成をめざし、イノベーション創出に向けた研究開発機能の集積を促進します。 商工関係団体や金融機関、大学と連携し、高付加価値なモノづくりや新たなサービスの創出につながるしくみづくりを進めます。 事業者等の知恵とやる気を活かし、地域の「強み」となり得る地域産業資源を活用した、新商品・新サービスの開発・販売等の事業展開を推進します。 						
	施策の方向	知恵やノウハウを結集する産学官民の交流・連携の場を設け、オープンイノベーションを推進し、技術・経営情報・販路等の経営資源の補完につなげるとともに、キーパーソンのつながりによる新しいビジネスの創出や、若手の参加による人材育成など、人材・技術を次世代に継承するネットワークづくりを促進します。さらに地域の強みを活かした新たなサービスの提供やものづくりなどによる事業展開を促し、企業の技術課題等に取り組むため、産学官民連携を活用し、技術の高度化や、新製品・新技術の研究開発を推進します。また、製造業をはじめ卸・小売業、サービス業など幅広い分野の創業への取り組みを支援します。高付加価値型産業への転換等の推進や研究開発型企業の誘致の促進するにあたり、企業ニーズの把握に努めるとともに効果的な支援策の検討を行います。						

指標	成果指標名	指標の説明	現状値(平成25年度)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	製造業に係る粗付加価値額(万円)	企業がその年に生み出した利益(出荷額等-推計消費税-原材料使用料等-減価償却額)	2,561	目標 2,599 実績 -	2,638	2,675

改善・取組方向	平成26年度		平成27年度	
	前年度の取組内容と残された課題	(平成25年度の取組内容と残された課題) 三重大学産学官連携セミナーを通じて、産学官民のネットワークの強化を図りました。 今後も施設の利用拡大を目的に周知広報活動を積極的に行います。 また、平成25年度に構築したネットワークを活用し、市内事業者の医療・福祉分野への技術転用による新製品の開発を目指します。	(平成26年度の取組内容と残された課題) 三重大学産学官連携セミナーを通じて、産学官民のネットワークの形成及び強化を図りました。今後も施設の利用拡大を目的に周知広報活動を積極的に行います。 また、平成25年度に構築したネットワークを活用し、市内事業者の医療・福祉分野への技術転用による新製品の開発を促進しました。三重大学の主催により、三重大学産学官連携セミナーを開催し、市内事業者と大学教授の交流による新産業、新商品の開発に向けたマッチングを図りました。 三重県のライフイノベーション事業と連携し、市内事業者の支援を行いました。 平成26年度に行った事業所ニーズ調査及び事業所訪問結果を分析し、新製品の開発における障害の排除又は軽減に係る支援を行いました。	三重大学の主催により、三重大学産学官連携セミナーを開催し、市内事業者と大学教授の交流による新産業、新商品の開発に向けたマッチングを図ります。 三重県のライフイノベーション事業と連携し、市内事業者の支援を行います。 平成26年度には市内事業者に向けて、医療・健康・福祉分野の研究、新商品開発のニーズ調査を行います。 また、その結果から市内事業者を訪問し、フォローアップを行い、製品の開発支援を行います。

(続紙)

施策 3401

地域産業の高付加価値化

No	26 重点	27 重点	事務事業名	事業概要	コスト の方向	H26 決算見込	H27 予算
01	1	1	商工振興経費(01-07-01-02-329-51)	伊賀市の商工業の振興・発展のため、関係機関や中商工業者に対し、支援を行う。	↑	47,614	50,324
02	2	2	産学官連携研究開発拠点運営経費(01-07-01-02-334-51)	産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」の運営経費を補助する。	↑	19,825	20,469
03		3	商工振興経費(01-07-01-02-329-51)	伊賀ブランド推進事業補助事業(平成26年度補正予算 地域住民生活等緊急支援のための交付金事業(地方創生先行型))	新規	0	3,000
構成事務事業 合計						67,439	73,793

構成事務事業の重点化